



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2021年4月11日(日) 9:30~12:00(晴)

参加者 一般:2名

指導員:3名

テーマ 「春の花に集まる虫を観よう！」

今季はいろいろな花が早く開いたようで、ソメイヨシノなどは既に散ってしまいましたが、例年この時期にはやって来ているセンダイムシクイやオオルリなどの夏鳥は未だのようで、前日の下見の時には冬鳥のマヒワの群が残っていました。どうも季節の進み方がちくはくな感じがします。

川原で目立つニホンタンポポの花にはセイヨウミツバチが蜜や花粉を集めにやって来ていました。花に集まるハナバチやハナアブは大きさも色合いも似たものが多いので、目や触覚に注目して、見比べてみました。

蝶も何種類か飛んでいたで、ツマキチョウを捕獲して、翅の形状や色合いを観察しました。またよく似たシジミチョウ仲間のヤマトシジミとツバメシジミも捕獲して、翅の模様を見比べてみました。

川岸に生えているヤナギの仲間の伸び始めた新芽をルーペで観察し、ハンドブックをもとにこれはカワヤナギ、これはコゴメヤナギだろうと、みんなで推測してみました。

大野極楽寺公園の野鳥園の周囲に張られたフェンス付近の竹などが伐採されて明るくなった場所にホウチャクソウがたくさん伸びて花をつけていました。ウバユリも昨年見られた場所以外にもずいぶんいろいろなところで葉を伸ばしていました。竹藪が繁っていた時にはこんなところにホウチャクソウやウバユリがあるとは気づきませんでした。日照条件によって生育する植物も変化するのでしょうか。

そういえば、川原でオオキンケイギクやカワラヨモギなどが生えていた辺りも、草がきれいに刈り取られていたので、これからどんな植物が伸びだすか興味津々です。

(報告: 齋竹)

<その他観察できたもの>

虫: モンシロチョウ、モンキチョウ、キタキチョウ、ツマキチョウ、ナミアゲハ、クロアゲハ、ツマクロヒョウモン、ベニシジミ、ヒメウラナミジャノメ、エグリツマエダシャク、ホソミイトトンボ、ナナホシテントウ、ヤマトシリアゲ

鳥: ツバメ、ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ、コゲラ、シジュウカラ、カワラヒワ、キジバト、スズメ、アオサギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、キジ(声)、ウグイス(声)

花: アメリカザイフリボク、クサイチゴ、ヘビイチゴ、オヘビイチゴ、ヒメフタナ、ハルジオン、コウゾリナ、ニガナ、オオジシバリ、スズメノエンドウ、カラスノエンドウ、カスマグサ、コメツブツメクサ、シロツメクサ、オランダミミナグサ、コハコベ、ノミノフスマ、ノミノツツリ、ムラサキサギゴケ、オオイヌノフグリ、カキドオシ、ヒメオドリコソウ、セントウソウ、ヒメウス、ムラサキケマン、シロノチシャ、スミシ、アリアケスミシ、ベニバナトキワマンサク、オウバイ



(河川敷のヤナギ類の葉を観察)



花に来たミツバチ



春先だけ出るツマキチョウ



ホウチャクソウがいっぱい



ウバユリも葉が伸びていた